

関西聚 活動報告書

活動名： 自然学習ゾーン活動 活動日：2017. 7. 22（土）15：00～16：30

リーダー名：伊東 俊廣	報告者：伊東 俊廣
<p>参加者： スタッフ：大川、上田、山本勲、東川、岩崎、伊東 参加者：7名 柳川博子さん、中西さん家族（4名）、松村さん（自然学習ゾーンの会へ入会）、 下村さん 久宝寺：魚谷さん</p>	
<p>7月22日（土）の活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物調査（昨年度に引き続き、昆虫と草本の生息調査を行う） <ul style="list-style-type: none"> 昆虫：大川、伊東 29種チェック 草本：上田、岩崎 32種チェック ・カブトムシの飼育箱のチェック及び放虫：山本勲、東川、参加者、魚谷さん <ul style="list-style-type: none"> 放虫：オス 10匹、メス 2匹 飼育箱に残したカブトムシ：オス 3匹、メス 2匹 	

活動報告・次回案内・感想など

今日はセミ羽化観察会が夕方のため、自然学習ゾーンの活動は**15時**から。それにしても暑い。久宝寺のチラシを見て参加してくれた松村さんは、今後も参加してもらえるとのことで、自然学習ゾーンの会に入会してもらった。

一番暑い時の活動で来てくれるか心配したが、参加者全員がカブトムシ放虫のグループで作業開始。**5月**のチェックでは**88匹**もの幼虫が確認され、放虫までのえさ代を心配して事前に少しずつ放虫の予定だったが、魚谷さんが自前のえさを作ってくれた。ところがどういうわけか成虫の姿が見えない。暑さのせいで潜っているかと思われたが、結果的には合計**17匹**（オス**13匹**、メス**4匹**）と悲しいことになった。原因は不明だが、持って行かれた可能性も捨てきれない。来年も今年同様飼育箱を利用して育てるしかないだろうが、やり方も少し変える必要がある。新しく整備された池は、以前より水位が増えておりイトトンボ（アオモンイトトンボ）も見られた。トンボ類はウスバキトンボ、コシアキトンボ、ギンヤンマ、シオカラトンボなどもみられ、賑やかになってきた。

植栽した樹木の状況もチェック、駄目だろうと思われたクサギも、**2本**が根元から新しく伸びだしており、これからも見守っていく。サンショウは残念ながら**1本**のみ生きている。

🌻 活動写真 🌻



アオモンイトトンボ



ウスバキトンボ



カナブンとシロテンハナムグリ



ゴマダラチョウ



ベニシジミ



ヤマトシジミペア

🌻 たくさんのご参加、ありがとうございました！

※ブラウザを閉じてお戻りください☆